



©今村拓馬

愛国の作法

姜尚中

武蔵野大学法学部は平成二六年に開設されました。法学部開設記念の第三弾となる本講演会では姜尚中氏をお招きし、ナショナリズム・デモクラシー・東アジア政治など政治学の重要テーマについてお話ししていただく予定です。多数のご参加をお待ちしております。

日時 2015年11月6日(金)
17:00~18:30 (開場16:30)

参加費
無

場所 武蔵野大学 有明キャンパス 3号館大講義室

対象 武蔵野大学の学生および一般の方

申込方法 武蔵野大学HP「法学部開設記念講演会」より
聴講申込フォームに必要事項を入力してお申し込み下さい。
10月9日(金)より申込開始 (先着順)
一定人数に達しましたら申込を締め切らせていただきます。

姜尚中 (カン・サンジュン) Kang Sang-jung

1950年、熊本県熊本市に生まれる。国際基督教大学准教授、東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授、聖学院大学学長などを経て、現在東京大学名誉教授。専攻は政治学、政治思想史。テレビ・新聞・雑誌などで幅広く活躍。主な著書に『マックス・ウェーバーと近代』、『オリエンタリズムの彼方へ』、『ナショナリズム』、『東北アジア共同の家をめざして』、『増補版 日朝関係の克服』、『在日』、『姜尚中の政治学入門』、『ニッポン・サバイバル』、『愛国の作法』、『悩む力』、『リーダーは半歩前を歩け』、『あなたは誰？私はここにいる』など。共著に『グローバル化の遠近法』、『ナショナリズムの克服』、『デモクラシーの冒険』、『戦争の世紀を超えて』、『大日本・満州帝国の遺産』など。編著に『在日一世の記憶』など。小説『母-オモニー』、『心』を刊行。最新刊は『悪の力』。

